

※子宮頸がん検診（細胞診＋内診）と併せて申込みください



令和7年9月～

【経膈エコー】

プローブと呼ばれる細い棒を膈の中に入れ、女性に多い子宮筋腫・子宮内膜症・卵巣のう腫などの子宮・卵巣の疾患を調べます。

【HPV検査】

子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）による感染が原因です。感染からがんの進行までは長い時間がかかるので、定期的に検診を受けることで早期発見につながります。従来のがん検診である「細胞診検査」に加え、「HPV検査」を組み合わせることでがんの見逃しをなくし早期の治療ができます。

- ◇細胞診検査・・・子宮頸部の細胞の異形状態を調べます。
- ◇HPV検査・・・ウイルス感染の有無を調べます。

子宮頸部の細胞をブラシで採取します。一度の採取で同時に細胞診とHPV検査ができます。